

平成27年度 第4期 第7回「耕人塾」

[日 時] 平成27年9月19日(土) 18:30~20:30

[場 所] 石巻専修大学2号館 2階2205教室・2206教室

[テーマ] 「p4c」

[講師] 宮城教育大学 教育復興支援センター

上廣倫理・哲学教育研究室

・特任教授 庄 司 修 氏

・特任教授 堀 越 清 治 氏

[使用したテキスト]

・『耕人』H27 5.pdf (塾長から塾生へのメッセージ: 第5号)

[活動内容詳細]

18:30 開会の挨拶及び趣旨説明(木村塾長)

耕人第5号 「世界に誇れるあいさつとは？」

『弱い者いじめをするのは恥ずかしいことである』

18:35

講話: 「p4c」【10分】

講師: 宮城教育大学 教育復興支援センター

上廣倫理・哲学教育研究室

・特任教授 庄 司 修 氏



基本的なp4c(考えることを愛する。ハワイで人種差別に変化。)の進め方

- (1) コミュニティボールを作りながら自己紹介
- (2) 趣旨とルール説明
- (3) 問いを考える
- (4) 問いの選定
- (5) 問いについての対話
- (6) 振り返り
 - ① 考えを話せたか?
 - ② 話を聞いたか?
 - ③ 考えが深まったか?
 - ④ 安心して参加できたか?
 - ⑤ また、やってみたいと思うか?

ポイントは、みんなで丸くなって、毛糸のボールを作って対話をします。大事なことは、「本当はどうなの」「何故だろう」とずうっと考えること、問いからスタートします。笑われない、否定されない、批判されない、何を言ってもみんながきちんと聞いてくれる。

5つのルール

- 1 ボールを持っている人しか話せない。（先生も大人も持っている人しかダメ。）
- 2 ボールが回ってきたとき、何も話したくなければ、パスできる。
- 3 まだ話していない人がいたら、優先的にボールを回す。
- 4 ゆっくり深く考えよう。
- 5 リラックスして楽しもう。

「どんな力が付くか」「何の役に立つか」仲の良い集団・学級づくりができる。それは、人の話を聞くからです。「聞くしかない⇒ボールを持っている人しか話せないから」「人の話を聞く⇒聞いてもらったらうれしくなる⇒いつまでもダラダラと話せないので何を話すか考えコミュニケーションする」「能力が付く⇒思考力・考える力が付く」考える場って世の中にどれくらいあるか？選ぶものはあるが、考えることとは違う。そんな中で考えるということ、p4cで体験してほしい。今回は、基本を学びます。進んでいくと、授業の中でも取り入れることができます。例として、『普段話せない子が話せるようになる』『いつもおしゃべりばかりしている子が、ボールをもった時にみんなが聞いてくれた。おしゃべりをしなくなった。人の話を聞けるようになった。』

実際に体験してもらいましょう。2つに分かれます。『学校名、名前、行ってみたいこと or 食べてみたいこと or ○○してみたいな』とかをボールを作りながら自己紹介します。そのあと、問いを出してもらい、どれがいいかを選びます。「なんだろう？」「それって本当？」という問いです。例えば、「地球って、いつどうやって終わるの」「常識ってなあに」「若いって何歳まで」「美しいってなあに」「なぜ人は眠たくなるの」というように、正解はないので何をしゃべってもいい、いろいろな年代のグループのほうが面白い。

このあと、2つに分かれて、始めましょう。

18:45【2つのグループに分かれて】

体験：「p4c」【70分】

講師：宮城教育大学 教育復興支援センター

・特任教授 庄司 修氏

上廣倫理・哲学教育研究室

・特任教授 堀越清治氏



19:55

年間活動計画の確認



20:00

班別活動【15分】

・7・8月の活動振り返り



20:15

全体学習【10分】

・各班の発表



